

様式第4号（第5条関係）



政務活動費収支報告書

令和8年4月1日

（あて先）飯能市議会議長

議員氏名

坂井 悦子

飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり令和7年度の政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 165,000円

2 支 出 121,890円

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	77,240	第20回全国市議会議長会研究フォーラム参加費・往復旅費・宿泊費
広 報 費	43,430	市政報告制作委託費・印刷代・配布料
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
その他の経費	1,220	消耗品（文具）
合 計	121,890	

3 残額 43,110 円

- （注）
- 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。
 - 2 領収書その他支出を称する書類の写しを添付すること。
 - 3 政務活動費収支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

様式第 5 号（第 5 条関係）

政務活動事業実績報告書

議員氏名 坂井 悦子

飯能市議会政務活動費の交付に関する規則第 5 条第 2 項の規定により、令和 7 年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

月 日	事業名	事業概要及び成果等
R7. 8/27～28	第20回全国市議会議長会研究フォーラム	札幌市にて開催された全国市議会議長会研究フォーラムに参加。成果レポートは別紙。
R8. 3月	市政報告の制作・配布	市政報告を制作し、市内一部地域に配布した。議会活動を報告し市政への理解と関心が深まるよう努めた。

（注）使途基準の項目別に記載すること。

事業概要及び成果について

令和 7 年(2025 年)8 月 27 日・28 日に札幌市で開催された「第 20 回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌」に参加。

主なテーマは「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」。

基調講演として、元衆議院議長の伊吹文明氏による政治や議会のあり方についての講演。

パネルディスカッションでは「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」をテーマに、専門家や現職議員が討議。

事例報告では、岡谷市議会や白山市議会などから、市民を巻き込んだシンポジウム、オンライン化、ハラスメント対策等、議会改革の取り組みが紹介された。

あらためて、「定数割れ」や「候補者不足」は、全国の議会が直面する共通課題であることが確認できた。

議会の活性化には多様な人材が立候補しやすい環境づくりが必須であり、若者・女性・会社員などが参画しやすくなるよう、報酬額の適正化や育児・介護との両立支援、欠席事由の明確化、選挙費用の低減や、厚生年金への加入といった制度的整備が有効な手段になり得るといった内容であった。

全国から 2,500 名以上の議員が集結する圧倒的な大規模フォーラムであり、議会改革、より魅力ある議会づくりへの学びは多い。

しかしながら、一泊二日の日程では 2 日目の視察への参加は叶わず、札幌市の新庁舎や水素ステーション、モエレ沼公園の雪冷房システムなど環境・防災への先進的な取り組みを視察できなかったことや、飯能市議会政務活動費(令和 7 年度 165,000 円)に対し、旅費の割合が多くなってしまうことを考えると、毎年に参加は選択できないところである。

今回が初めての参加で、これだけの大会場で多数のプログラムが予定されたフォーラムにおいて「自分たちの町をよくしたい、議会をより活性化させたい」という同じ思いの議員と直接意見交換できたことは、刺激と学びを得る大変有意義な機会であった。